

私は、中3から高3の間、医学コース（医療系）に所属していました。医療系の医学コースには、看護学・薬学など医学部以外の医療の道を志す生徒が集まっていたため、様々な分野の先生の講義を受けることができました。他の分野のことも学べてすべての講義が興味深いものでしたし、何より自分の視野を広げる良い機会になったと思います。

私の学生生活のほとんどは、部活動が占めていました。研修旅行や文化祭、クラスマッチなどの行事ももちろん楽しい思い出として残っていますが、やはり部活動が一番の思い出です。中学生のときから高校生と一緒に練習をすることで、上手になりたいという気持ちが大きくなり練習に励んでいました。何か1つのことに向き合い、高めるために努力し続けることは簡単なことではありません。ですが、最後の大会の直後には何とも言い難い達成感に満ち溢れました。小学校のときから9年間楽器を続けて、すべてが順調に進んだわけではありませんが、とても充実した学生生活を過ごすことができました。

茨中・茨高の良いところは、「独自のカリキュラム」で授業を先取りするため、高3のときは演習に時間を費やすことができる点だと思います。なので自分の苦手な分野をしっかりと勉強したり、何度もやり直す時間を確保したりすることができました。そして、たくさんの先生がいらっしゃるのので、自分にはない視点からご指導いただける点も良いところだと思います。先生方との会話で自分が気が付かなかったことや間違っていて記憶していたことを知ることができました。

将来、看護師の資格を所持している養護教諭になりたいと思っています。ダブルライセンスの取得のために学びに貪欲で居続けたいです。そして、様々な方との交流を大切にしていきたいです。将来は、養護教諭として母校で働きたいと思っています。そのために、自分が理想とする将来像に向かって努力したいです。